

25 軍艦島デジタルミュージアムを中核とした南山手地区文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者):

軍艦島デジタルミュージアム((株)ユニバーサルワークーズ)

文化観光推進事業者:

長崎市文化観光部、(一社)長崎県観光連盟、(一社)長崎国際観光コンベンション協会、長崎市宿泊協議会、(株)リクルートライフスタイル、南山手地区観光推進協議会、(有)長崎堂

計画期間

2020年度～2024年度 (5年間)

目標

- 日本人・外国人来訪者の満足度(5ポイント中)
2019年度 4.2→2024年度 4.7 (+0.5ポイント)
- 外国人来訪者数
2019年度 2千人→2024年度 3千人 (1.46倍)
※10年後(2029年度)には10千人 (5倍)
- 来訪者総数
2019年度 52千人→2024年度 76千人 (1.46倍)

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- 元島民インタビュー等の資料収集

<2.文化についての理解促進>

- 軍艦島の歴史を360度パノラマで数百人が同時に体験見学できる大型プロジェクションマッピングの導入
- 映像コンテンツ多言語化

<3.文化観光に関する利便の増進>

- HPにおける前売券販売、無人受付機導入

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- 世界遺産ストリートとして商店街と連携した商品開発

<5.国内外への宣伝>

- 長崎市、長崎県のウェブサイト等多言語での情報発信

<6.施設又は設備の整備>

- 長崎堂の中に軍艦島をイメージしたカフェスペースを開設

文化クラスター推進事業費(5年間の計画ベース)

291百万円(うち、補助金194百万円)

計画区域



中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設